

登録ID	演題番号	セッション名	日にち	時間	氏名	演題名
10008	O-01	in vitro 研究	6月22日(土)	10:45~11:45	辻 直紀	破骨細胞由来アポトーシス小体は分化した骨芽細胞の再活性化を促す
10017	O-02	in vitro 研究	6月22日(土)	10:45~11:45	難波 裕生	Disrupted-In-Schizophrenia 1 fusion partner 1 (DISC1FP1)が破骨細胞分化に与える影響
10027	O-03	in vitro 研究	6月22日(土)	10:45~11:45	佐藤 克也	微振動刺激を付与した骨芽細胞における細胞核揺動現象の観察
10022	O-04	in vitro 研究	6月22日(土)	10:45~11:45	松坂 匡晃	骨基質配向性は骨に加わるひずみ速度に応じて変化する
10021	O-05	in vitro 研究	6月22日(土)	10:45~11:45	松垣 あいら	チタン表面構造による間葉系幹細胞の骨分化・機能制御
10020	O-06	in vitro 研究	6月22日(土)	10:45~11:45	北嶋 昇太	超音波照射時におけるポリL乳酸(PLLA)製骨接合材あるいは骨中の誘発電位
10035	O-07	in vivo 研究1	6月22日(土)	9:30~10:30	渡辺 学	転移性骨腫瘍に対するゾレドロン酸投与タイミングの違いに対する効果
10019	O-08	in vivo 研究1	6月22日(土)	9:30~10:30	星(沼端) 麻里絵	A1とG1Sによる新規形態計測法の確立とイヌ皮質骨リモデリングに対するテリパラチドの薬理作用解明
10048	O-09	in vivo 研究1	6月22日(土)	9:30~10:30	長谷川 智香	PTH投与によるGli1発現未分化間葉系細胞の細胞分化と骨組織内分布
10033	O-10	in vivo 研究1	6月22日(土)	9:30~10:30	峯松 亮	全身振動刺激が糖尿病モデルラットの大腿骨機械的骨強度に与える影響
10029	O-11	in vivo 研究1	6月22日(土)	9:30~10:30	石津 帆高	DAP12/TREM2 signalはRANKL中和抗体中止後の過剰な骨吸収に影響を及ぼす
10026	O-12	in vivo 研究1	6月22日(土)	9:30~10:30	黒嶋 伸一郎	インプラント周囲炎モデルラットにおけるマクロファージ動態解析研究
10001	O-13	臨床1	6月22日(土)	15:00~16:20	永井 隆士	腹壁仙骨間距離(SAD)とアンドロイド/ガイノイド(A/G比)の転倒リスクに関する違いについて
10041	O-14	臨床1	6月22日(土)	15:00~16:20	白石 和輝	健常人女性のDXAによる腰椎と大腿骨骨密度の特徴:長崎県健常人コホート研究(J-CaraT study)
10044	O-15	臨床1	6月22日(土)	15:00~16:20	飯田 健	HR-pQCTを用いた健常人のMCP関節、手根骨、手関節に発生するErosionの解析
10039	O-16	臨床1	6月22日(土)	15:00~16:20	高橋 忠久	ステロイド性骨粗鬆症におけるロモズマブの治療成績 -導入前骨代謝マーカーから見た治療効果の予測-
10023	O-17	臨床1	6月22日(土)	15:00~16:20	水田 将人	アルコール多飲を背景に病的骨折を繰り返した末期腎不全骨軟化症の一例
10046	O-18	臨床1	6月22日(土)	15:00~16:20	山本 智章	ヒト腸骨生検からテリパラチドとロモズマブの骨組織動態
10047	O-19	臨床1	6月22日(土)	15:00~16:20	島倉 剛俊	ロモズマブの骨形成促進作用とビスホスホネート製剤前治療の影響 -骨組織形態計測学的観察-
10051	O-20	臨床1	6月22日(土)	15:00~16:20	鈴木 泰平	高Ca血症を伴う多発骨折に対しロモズマブが有効であった血液透析症例
10014	O-21	骨評価法	6月22日(土)	16:35~17:45	村尾 美羽	Ge結晶を用いたFTIR-ATR法による骨質評価
10006	O-22	骨評価法	6月22日(土)	16:35~17:45	鈴木 友輔	REMS法を用いた大腿骨近位部の骨密度測定結果と3D-SHAPER解析結果との比較
10007	O-23	骨評価法	6月22日(土)	16:35~17:45	石津 帆高	DXAにおいて影響を及ぼし得る体内アーチファクトに対するREMSの有用性検討
10032	O-24	骨評価法	6月22日(土)	16:35~17:45	田中 茂雄	多方向散乱光計測と機械学習を用いた非侵襲骨密度予測法の開発
10049	O-25	骨評価法	6月22日(土)	16:35~17:45	南郷 脩史	自動計測により算出した大腿骨近位部皮質骨厚さを用い皮質骨脆弱性を評価
10038	O-26	骨評価法	6月22日(土)	16:35~17:45	千葉 恒	末梢骨の骨微細構造解析は大腿骨近位部の骨微細構造を反映しているのか
10036	O-27	骨評価法	6月22日(土)	16:35~17:45	青木 龍克	高解像度全身用CT(Aquilion Precision?)による骨微細構造の解析:正確性検証のための基礎試験

登録ID	演題番号	セッション名	日にち	時間	氏名	演題名
10011	O-28	臨床2	6月23日(日)	14:00～15:00	渡邊 凱	透析導入後17年目に骨生検を行ったDent病長期生存患者の一例
10004	O-29	臨床2	6月23日(日)	14:00～15:00	佐藤 力	OLS患者と検診・ドック患者におけるDEXA比較検討
10003	O-30	臨床2	6月23日(日)	14:00～15:00	粕川 雄司	高齢女性における骨格筋脂肪変性の年齢と骨密度との関連
10024	O-31	臨床2	6月23日(日)	14:00～15:00	横田 武尊	骨質評価法である椎体内Hounsfield unitとvertebral bone quality scoreにおける骨密度との相関に関する検討
10025	O-32	臨床2	6月23日(日)	14:00～15:00	横田 武尊	Vertebral bone quality scoreと脊椎固定術後のスクリューの緩みとの関係：単施設後ろ向き研究
10034	O-33	臨床2	6月23日(日)	14:00～15:00	土江 博幸	ロモソズマブ開始前の骨粗鬆症治療薬が与える影響の検討
10005	O-34	in vivo 研究2	6月23日(日)	9:20～10:10	荒川 大亮	エラストラーゼ誘導性肺気腫マウスでは尾部懸垂後の再荷重による海綿骨の回復が遅延する
10028	O-35	in vivo 研究2	6月23日(日)	9:20～10:10	塚本 学	エラストラーゼ誘導性肺気腫マウスでは身体活動量とは無関係に海綿骨量が減少する
10012	O-36	in vivo 研究2	6月23日(日)	9:20～10:10	柳樂 慶太	月面重力が踵骨の骨代謝と踵立方関節の骨軟骨複合体に与える影響
10010	O-37	in vivo 研究2	6月23日(日)	9:20～10:10	橋本 真奈	多様な顕微鏡を用いた、骨細胞ネットワーク形成におけるコラーゲン細線維束化の重要性の解明
10018	O-38	in vivo 研究2	6月23日(日)	9:20～10:10	和田 大河	光散乱を用いた卵巣摘出マウス骨の超音波音速評価
10009	O-39	臨床3	6月23日(日)	10:25～11:45	末永 敦彦	INF2のエクソン2に病因のヘテロ接合体遺伝子変異が証明されたCharcot-Marie-Tooth病合併透析患者の骨生検像
10016	O-40	臨床3	6月23日(日)	10:25～11:45	福田 誠	AL-amyloidosisによるImmobilization osteoporosis症例の骨形態計測評価
10037	O-41	臨床3	6月23日(日)	10:25～11:45	藤野 涼介	整形外科入院患者の経時的骨密度変化～REMSでの検討～
10045	O-42	臨床3	6月23日(日)	10:25～11:45	近藤 直樹	ビスホスホネート関連非定型大腿骨骨折における腸骨組織像および骨折部の組織像の検討
10030	O-43	臨床3	6月23日(日)	10:25～11:45	大成 和寛	当院における骨粗鬆症治療拡大を目指した椎体骨折スクリーニング-骨折数-
10031	O-44	臨床3	6月23日(日)	10:25～11:45	大成 和寛	当院における骨粗鬆症治療拡大を目指した椎体骨折スクリーニング-治療率-
10050	O-45	臨床3	6月23日(日)	10:25～11:45	大成 和寛	当院における骨粗鬆症治療拡大を目指した椎体骨折スクリーニング-大腿骨近位部骨折とGIOとの関係-
10052	O-46	臨床3	6月23日(日)	10:25～11:45	齋藤 耕吉	慢性腎臓病患者の腰椎海綿骨スコアと骨塩量 —横断研究—
10002	O-47	in vivo 研究3	6月23日(日)	14:00～14:50	坂下 美咲	クロマグロ椎骨の成長に伴う側面構造の発達と骨髄腔の形成
10043	O-48	in vivo 研究3	6月23日(日)	14:00～14:50	河原木 剛	テリパラチド製剤が転移性骨腫瘍に及ぼす影響の検討
10013	O-49	in vivo 研究3	6月23日(日)	14:00～14:50	森下 耀	化膿性脊椎炎モデルラットにおける椎間板と骨破壊の経時的変化の検討
10040	O-50	in vivo 研究3	6月23日(日)	14:00～14:50	中西 真奈美	抗癌剤使用軟部肉腫モデルマウスに対するビスホスホネートおよびビタミンDによる骨量減少予防効果の検討
10042	O-51	in vivo 研究3	6月23日(日)	14:00～14:50	富永 健太	アデニン誘発型慢性腎臓病(CKD)モデルラットにおける脛骨近位骨切り部の骨癒合の検討